

## \* 研究目的

グローバルな現代世界にあつては、異質な文化的背景をもった世界の人々との接触の機会は増すばかりである。人類共存のために多文化共生の社会が求められながらも、世界は異文化衝突、誤解、対立が不可避な現状にある。そのような現状にあつて、学生と地域社会、学生と外国語教育、人と職場、留学生とホームステイといった、教育と社会と生活の分野は、今やさまざまな異文化接触とインターアクションが行われ、新しい視野が求められる学際的場である。

ゆえに、多様な異文化接触の場の現実を通して、我々チームは、学生と地域社会、学生と外国語教育、人と職場、留学生とホームステイの具体的な問題と課題を、「異文化接触のダイバーシティ」のテーマに見出し、問題の所在を分析することにより、多様な現実の中から将来の教育と生活への展望に繋げていきたいと考える。ここで言う「異文化接触のダイバーシティ」とは、学際的視野の中での、様々な領域やコミュニティや人々の交流の仕方における異文化接触の多様性を意味する概念である。

甲南学園の創立者平生三郎は「世界に通用する紳士・淑女たれ」を学園の教育理念として掲げ、世界で活躍する人材育成と世界平和に貢献する学園作りを目標とした。我々の研究チームでは平生の教育理念に沿いながら、異文化接触のダイバーシティの研究を通じて、異文化対立の解決の道を模索し、甲南大生と教職員の異文化接触に対する態度や理解の形成にも通じる研究をしていきたいと考える。

## \* 研究チームメンバーと研究課題

ジョーンズ ブレント A.	甲南大学マネジメント創造学部・ マネジメント創造学科・教授	サービス・ラーニングによる異文化 理解と人間形成
中里 英樹	甲南大学文学部・社会学科・教授	職場におけるダイバーシティ・マネー ジメント
原田 登美	甲南大学国際言語文化センター・ 教授	在日留学生と日本人ホストファミリー の異文化接触
藤原三枝子	甲南大学国際言語文化センター・ 准教授	外国語・異文化学習における学習者の 多様性と言語習得